

謹賀新年



兵庫工業会 NEWS

2026年1月1日

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.322



飛躍の2026年へ！ 新年ご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素は当会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年（2025年）は、兵庫工業会創立40周年という記念すべき節目の年でした。会員各位の長きにわたるご尽力と、温かいご支援のおかげをもちまして、新たな事業企画の成功、そして年末の記念式典を多数の皆様のご臨席のもと、盛大に執り行うことができました。ここに記し、深く感謝申し上げます。

40年の歴史の中で培ってきた、いかなる困難にも屈しない「変革への意志」と「地域に根差した強固な連帯」は、当会の揺るぎない財産です。私たちは今、この強固な基盤の上に、未来を築く新たなステージへと確固たる一步を踏み出します。

経済状況に目を向けますと、グローバルな政治情勢の不確実性は恒常化し、予断を許さない国際的な動向や紛争が、サプライチェーンやエネルギーコストの構造的な高止まりを招きました。国内においても、諸物価の上昇はコスト構造を変える持続的な圧力となっています。持続的な賃上げは不可欠な社会的責任となりつつありますが、その原資を生み出すための生産性向上と、適正な価格転嫁の実現は、依然として経営の最重要課題であり続けています。さらに、デジタル化の波が進む一方で、必要なスキルを持つ人材不足は、企業成長を阻む深刻な構造的ギャップとなっております。

兵庫工業会は、40周年を経て、会員企業の皆様の期待を超える、具体的な成果と新たな価値を提供すべく、活動を刷新します。最重要テーマに「次の時代を切り拓く事業創出」を掲げ、強力に推進してまいります。

まず、喫緊の課題である人材難に対応するため、当会のコア事業である人材育成プログラムを、従来の基礎研修からさらに見直し、DX時代に不可欠な「データ活用能力」と「生成AIなどの最新技術を現場で活用し、成果に繋げる実践力」向上に特化した専門プログラムを本格的に展開します。また、ものづくり分野における女性活躍の促進や、海外理工系人材の戦略的活用など、「多様性を力に変える」ための支援を強化いたします。

次に、本年はデジタル技術を労働生産性向上に留まらず、新たな市場や収益源の開拓に直結する「攻めのDX」を継続して強力に支援します。同時に、世界共通テーマであるSDGsへの取り組みを、「企業の足腰の強さと、社会からの信頼」に直結する課題として捉え、ものづくり企業の強みである改善活動を企業価値向上に繋げるツールとして活用することをさらに徹底し、社会構造の変化に対応できる持続可能な事業展開を支援いたします。

さらに、当会の強みである産官学連携の深化を図り、最新の技術情報の発信や行政との意見交換会を通じて、会員企業の技術振興とものづくり力の向上に資する事業を推進します。また、中小企業が国際競争力を高められるよう、行政と連携し、海外展開に必要なノウハウ取得を支援する各種事業を充実させてまいります。

もちろん、従来からの会員相互の交流やネットワーキングの活性化も、今まで以上に充実させます。

会員各位が「自社の経営力強化に役立っている」、「本当に入会してよかった」と実感していただける「価値創造型の兵庫工業会」を目指して、一步一步、確実に前進いたします。

どうか引き続きまして、当会活動への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員各位やご家族の皆さまにとりまして、丙午の勢いのように、飛躍と幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 三宅俊也

新年のご挨拶



副会長 金井 宏彰 (シン・ものづくり委員会 委員長)

新年明けましておめでとうございます。

私が担当させていただいているシン・ものづくり委員会では、3年目となるメイン事業のDXゼミナールも軌道に乗り、年を重ねる毎に取り組み内容も進化してきました。工業会が目指すトランスフォーメーションを目的とするDXも初年度の従来型企業分析手法から今年は生成AIを駆使した高度なものへと展開しています。DX挑戦企業も5社となり本年度は更により多くの会員企業の皆様にDXの概念を共有していただきたく個別企業だけでなくより幅広い浸透を狙います。

また、本年はコロナ中断を経て7年振りの海外研修を企画しました。

訪問地域は昨今の地政学リスクなどを考慮すると共に、今後の発展が見込める地域としてインドを選定いたしました。まだまだ、渡航先としては快適とは言い難いですが、2025年にはGDPで日本を追い抜き世界4位になるのは間違いないと思います。早い段階でネクストチャイナを見聞しておきたいと思います。皆様の勇気ある挑戦をお願いします。



副会長 吉井 満隆 (産業振興委員会 委員長)

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年末に高市政権が発足し、日本再起を目指すとして責任ある積極財政の考えのもと、危機管理投資や戦略分野への投資促進がなされる見通しであり、今後、産業構造の転換が加速されることが予想されます。

私が担当する産業振興委員会では、こうした我が国の産業構造の変換期のなか、SDGsを念頭に「2050年のカーボンニュートラルを見据えた環境問題への対応」や「モノづくり企業の人材確保・育成課題」など各会員企業が抱える経営課題の解決に向けて企業活動の活性化につながる一歩踏み込んだ活動にすべく取り組んでまいります。

兵庫工業会も41年目を迎え、会員各社の経営力強化に役立つように施策のアップデートをしながら積極的に活動を高めてまいりますので、皆様の一層のご協力をお願いいたします。この一年の皆様の健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



副会長 藤嶋 純子 (会員交流委員会 委員長)

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当工業会の活動に対し格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年から引き続き製造業を取り巻く環境は、技術革新への対応・コスト増・人手不足・人材育成・国際競争力など課題が多くあります。それらを解決するための『技術向上』『生産性向上』『人材確保』『人材育成』に向けた兵庫工業会の施策を、会員の皆様には大いに利用していただけたらと思います。また会員同士の情報共有や連携は、企業力の向上に欠かせない要素となっており、会員の皆様が積極的に交流できる場を一層充実させていく所存です。

本年が、皆さまにとって更なる飛躍の一年となりますよう祈念するとともに、変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



副会長 岡田 兼明 (人材育成委員会 委員長)

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2026年は午年、何事も上手く進みますように、と願うところです。

色々な物価が上昇する中、自社の商品・サービスの付加価値が相応に評価されるように持っていく努力、またその事を可能ならしめる人材育成。AIがどんどん仕事の領域に入り込んで来ますが、これをうまく使いこなして省力・省人化につなげること。また外国の技術系人材を積極的に取り込んでいくこと。そんな課題に向き合いながら、工業会が会員の皆様の要請にお応えできるプログラムを提供出来ますように全霊を賭して、全力で取り組んでまいります。皆様のご健勝、ご事業のご発展を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

次代を拓く 兵庫の力



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、阪神・淡路大震災から30年、終戦から80年という大きな節目を迎え、過去を振り返り、未来への責任を改めて心に刻む、意義深い一年となりました。

令和8年は^{うま}午年。力強く駆け抜ける「行動力」と「挑戦」を象徴する年であり、未来に向けた兵庫づくりを力強く進めてまいります。

第1は、若者・Z世代へのさらなる支援です。県立大学授業料無償化等の教育費負担の軽減、県立学校の教育環境の充実、海外留学支援、不登校やケアリーバー等の課題を抱える若者への支援など、一人一人が自らの夢や目標に向かって、力を発揮できる環境を整えます。

第2は、活力あふれる兵庫の創出です。フィールドパビリオンなどの万博のレガシーを活かした交流人口の拡大や、スポーツ・芸術文化の振興、農林水産業や地場産業への支援など、地域の魅力を高め、活力ある兵庫を築いていきます。

第3は、安全安心な暮らしを支える基盤の強化です。南海トラフ地震などの大規模災害に備え、防災力を高めるとともに、上下水道の老朽化対策、特殊詐欺被害対策、ツキノワグマ対策などの日常の安全を守る取組を強化していきます。

未来を見据え、県民の皆様とともに新しい時代を切り拓いていく決意です。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

兵庫県知事

齋藤元彦

新年に寄せて



新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年秋の市長選挙におきまして、市民のみなさんからご信任を賜り、引き続き4期目の市政を担わせていただくこととなりました。私は市長就任以来、常に「公正で折り目正しい行政」を貫き、あるべき自治体の姿を追い求めてきました。これからも初心を忘れることなく、市民のみなさんからの期待にお応えできるよう、全力を尽くしていく所存です。スピード感をもって先駆的な施策を展開し、次の時代に誇ることができる神戸を築いていきます。

今、神戸のまちは、大きく変わりつつあります。都心三宮、ウォーターフロントでは新たな賑わいと美しい風景が生まれ、郊外では拠点駅を核に、まちが新たな表情を見せ始めています。神戸空港の国際化を契機に、神戸は新たな国際都市としての可能性を手にすることができました。神戸空港島の将来構想の策定や空港ターミナル機能の強化に取り組むなど確かな成長へと歩みを進めていきます。こうしたまちの成長を市民一人ひとりの暮らしの豊かさへと着実につなげていくことが必要です。目先の人口増を追い求めるのではなく、将来の世代に対して、責任を持って引き継ぐことができる持続可能なまちづくりを進めます。

都市の繁栄は災害に強い、強靱な基盤があって初めて成り立ちます。災害や感染症などあらゆる危機から市民を守る安全・安心なまちづくりに引き続き取り組むとともに、子育て支援のさらなる充実、教育環境の整備、地域医療や福祉の強化など、すべての世代がいきいきと暮らせる「人間らしいあたたかいまちづくり」に注力します。

神戸は自然と暮らしが調和するまちです。森林や里山の再生やまちの緑化に向けた「森の未来都市・神戸」の取り組みや再生可能エネルギーの活用など、自然と共生するまちづくりを進めていきます。

兵庫工業会の皆様におかれましては、地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられることに、深く敬意を表します。これからも皆様と力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年が皆様にとって、素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

神戸市長 久元 喜造

謹 賀 新 年

(2026年1月1日現在)

司 行 勲 之 也 平 祐 作 子 隆 一 弥 富 章 豐 史 哉 三 郎 孝 典 民 平 洋 高 俊 磨 治 岳 二 郎 士 城 和 輝 隆	裕 利 啓 晋 松 圭 賢 裕 雅 克 義 智 幸 和 健 貴 寿 昇 邦 典 千 久 信 隆 秀 健 博 洋	毛 所 田 川 口 川 田 村 川 藤 宮 畑 嶋 宅 口 倉 内 田 村 矢 藤 田 田 井 津 村 坂 本 脇 元 井 本 藤 田	德 番 柴 中 谷 瀧 山 上 中 安 松 小 豊 三 畑 谷 阿 宮 福 上 降 友 市 竹 酒 三 江 脇 倉 官 村 下 山 近	事	理	〃	監	事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
						〃			〃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
也 彰 隆 子 明 明 論 一 之 二 剛 代 彦 一 要 和 修 聰 三 彦 哉 子 夫 樹 雄 郎 太郎 稔 久 樹 文 大 隆 司 忠 也	俊 宏 滿 純 兼 宏 浩 敏 伸 美 智 元 良 武 泰 勝 信 悦 泰 雅 英 安 慶 治 直 康 慶 泰 直	宅 井 井 嶋 田 戸 井 原 子 田 比 野 上 福 庫 東 村 田 山 古 橋 内 元 市 安 上 月 森 井 前 田 井 松 野 水 下 上	三 金 吉 藤 岡 神 川 安 金 千 阿 井 伊 大 山 岡 吉 陰 加 高 河 久 武 頃 尾 上 中 藤 大 黑 石 平 小 清 眞 井	長 會 副	專 務 常 理	〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
						〃			〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃



株式会社大門

本社 〒674-0064 明石市大久保町江井島1644-1
TEL: 078-936-2900 / FAX: 078-936-1666
URL: <http://www.e-daimon.co.jp/>
代表取締役: 中村 祐大

「一步前へ」

心を運ぶ、60年の歩み

荷物を託す人の「心」を、受け取る人の「心」へ。

この理念を胸に、私たちは60年を超える歴史の中で、常に物流の新しい姿を追い求めてまいりました。

その歩みの根底には、創業以来大切にしてきた「凡事徹底」の精神があります。一見すると当たり前に見えることを決して疎かにせず、誠実に積み重ねる。華美なスローガンではなく、確実な行動の積み重ねこそが信頼を生むと信じ、社員一人ひとりが日々の現場で実践してきました。

当社の原点は、昭和29年（1954年）、大門組商事としての創業にさかのぼります。戦後復興が進む中、関西の重量物運搬業界において他の追随を許さない技術力を誇り、各地の工場移設工事に大きく貢献しました。昭和30年には、戦争で移転していた川崎航空機工業（現・川崎重工業株式会社）が明石へ設備を戻す際、その輸送・据付を担当。この経験を契機に同社との強固な協力体制が築かれ、明石工場内に作業連絡所を開設。重量物輸送のスペシャリストとして確かな信頼を獲得しました。

昭和40年には株式会社大門組商事として法人化。昭和44年には川崎重工業株式会社の国内外輸送・梱包業務を拝命し、一貫輸送体制をより強固にしました。昭和52年には鉄工部門を新設し、機械加工や設備設置など業務領域を拡大。設計や鋳金にも対応できる体制を整え、物流会社でありながら“つくる力”を持つ独自性の高い企業へと成長しました。

平成7年（1995年）には阪神淡路大震災が発生。兵庫県は甚大な被害を受ける中、交通網の寸断やインフラの混乱によって物流の重要性和責任を痛感する出来事となりました。「人の想いを運ぶ」という使命を改めて確認し、地域社会に根ざす企業としての覚悟を新たにしました。

その後も、輸出梱包専用工場や機械組立工場、物流センターの開設など、時代のニーズに応じた設備投資を積極的に推進。バブル崩壊やリーマンショックといった経済の激動期でも、現場の声を最優先に、堅実な経営と着実な成長を続けてきました。

平成から令和へと時代が移る中で、経理・総務部門を集約した大久保総合事務所の開設、車庫の新設、老朽化施設の建て替えなど、安全性・効率性・作業環境を高める投資を継続。より質の高いサービスを提供するための基盤づくりにも取り組んできました。

令和3年（2021年）、三代目社長として私が就任し、「物流をクリエイティブにする企業へ」という新たなビジョンを掲げました。小野市匠台への新物流センター開設をはじめ、顧客ニーズの多様化に対応するため、より柔軟で総合的な体制を構築し、変化に挑む企業としての歩みを加速させました。

創業以来一貫して大切にしてきたのは、「荷物の向こうにある人の想いを届ける」という姿勢です。モノだけでなく、送り手の気持ちを含めて確実に届ける。そのために社員一人ひとりが技術を磨き合い、時代に合わせて進化を続けてきました。

特に就任を機に掲げたのが「一步前へ」という言葉です。

変化が激しい時代において、ただ守るだけでは企業は生き残れない。小さな改善でも構わない。昨日より一步だけ前へ進む。その積み重ねこそが、次の60年を切り拓く力になると考えています。「凡事徹底」で積み上げた土台の上に、「一步前へ」という挑戦の精神が加わることで、当社は新たな変革期へと歩を進めています。

これからの時代を見据えると、変化のスピードは、私たちが歩んできた60年をはるかに上回ると予測されます。スマートフォンが誕生して20年足らずで生活基盤の中心となったように、物流の世界もAIやロボティクス、デジタル技術によって想像を超えるかたちへと変貌していくでしょう。

自動運転トラック、ドローン配送、ロボット倉庫など、新技術は次々と実用化されています。しかし、それらを使いこなす価値を生み出すのは「人」です。物流は決して「人が不要になる業界」ではなく、「人の価値がより問われる業界」へと進化していきます。

そこで鍵となるのが、「進化」からさらに踏み込んだ「新化」という考え方です。既存事業を磨く“進化”に加え、これまでにない価値を生み出す“新化”を実現する。そのための基盤として「凡事徹底」、そして「一步前へ」の精神は、当社の大きな武器となります。

梱包・輸送・鉄工——三本柱のシナジーが生む独自の価値をさらに磨き、「大門に頼めば大丈夫」と言われ続ける存在でありたい。

60年の歩みは、未来への通過点にすぎません。

私たちはこれからも「心を運ぶ」企業として、そして「物流を創り出す」企業として、時代が求める新しい価値を生み続けてまいります。



1970頃 旧ソ連向けプラント設備の梱包風景



1970頃 旧ソ連向けプラント設備の
検量作業風景



60周年式典集合写真

兵庫工業会40周年記念式典

兵庫工業会は今年創立40周年を迎え、『40周年記念式典』として「記念講演会」「表彰式」「会員交流懇親会」を、12月5日(金)に神戸ポートピアホテルにて、163名のご参加をいただいて盛大に開催しました。

記念講演会

記念講演会は、万博でシグネチャーパビリオン「いのち動的平衡館」をプロデュースされた生物学者・作家の福岡伸一氏をお迎えし、「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」と題してご講演いただきました。

「生命」を動的平衡の視点から捉えなおすという、多くの参加者にとって日頃あまり考えることのない新鮮かつ奥の深いお話をお聞かせいただき、参加者の方々からも「大変興味深く聞かせていただきました。」との声をたくさんいただきました。まさに創立40周年を記念するにふさわしい講演会となりました。



記念講演会の様子

表彰式

記念講演の余韻が残る会場で、功労者表彰と長寿企業表彰の表彰式が行われました。

功労者表彰は、団体表彰として兵庫工業会、個人表彰として兵庫工業会の役員に10年以上ご就任いただいている15名の方に、兵庫県の中村産業労働部次長より表彰状および記念品が贈呈されました。受賞者は以下の通りです。

功労者表彰：

1. 団体 公益社団法人 兵庫工業会
2. 個人 (15人)

降 矢 寿 民	フルヤ工業(株)	大 庫 良 一	オークラ輸送機(株)
黒 田 直 樹	三相電機(株)	井 上 直 也	新光電機(株)
吉 田 修	音羽電機工業(株)	安 藤 隆	(株)布引製作所
三 津 千久磨	ミツ精機(株)	上 村 勝 敏	(株)トーホー
眞 下 忠	神港精機(株)	阿 倉 和 哉	(株)兵庫精密工業所
大 島 孝一郎	大島金属工業(株)	岡 村 武 和	(株)OKAMURA
豊 嶋 義 富	菱井商事(株)	中 川 啓 之	第一熱研(株)
山 本 博 和	(株)山本電機製作所		



功労者表彰受賞者

長寿企業表彰は、創業後125年以上の会員企業に、兵庫工業会の三宅会長より表彰状および記念品が贈呈されました。受賞企業は以下の通りです。

長寿企業表彰 (10社)：

ヤエガキ酒造(株) (1666年創業)	日本丸天醤油(株)(1795年創業)
日本精機宝石工業(株) (1873年創業)	(株)米田商店 (1880年創業)
早駒運輸(株) (1885年創業)	まねき食品(株) (1888年創業)
三輪運輸工業(株) (1888年創業)	(株)共進牧場 (1890年創業)
(株)薫寿堂 (1893年創業)	金井重要工業(株) (1894年創業)



長寿企業表彰受賞者

会員交流懇親会

会員交流懇親会は、会場を移して開催。三宅会長の開会挨拶に続いて、来賓の中村兵庫県産業労働部次長、大畑神戸市経済観光局長にご挨拶をいただきました。さらに、今年新たに兵庫工業会に入会された会員企業から、当日参加された2社の代表の方にご挨拶をいただきました。

続いて行われた鏡開きでは、三宅会長、中村次長、大畑局長、功労者を代表して降矢理事、長寿企業を代表して日本精機宝石工業(株)の仲川社長が、お揃いの青い法被を着て、参加者の「せーの、よいしょ」の掛け声にあわせて力強く鏡を開き、藤嶋副会長の乾杯の音頭で宴が始まりました。

しばらくのご歓談の後、『福引き大会』がスタートしました。

今年もおせち料理やカタログギフト、ホテル宿泊券など、会員企業賞48本、会長・副会長賞8本、計56本の豪華景品をご用意、当選者には景品提供企業の代表者および会長・副会長より景品をお渡しいただきました。

大いに盛り上がった福引き大会が終わると中締めです。会員交流懇親会を所掌する会員交流委員会の番所副委員長のご挨拶と一丁締めで、盛況のうちにお開きとなりました。

景品のご提供をいただいた会員企業の皆様、当日ご参加いただきました皆様、大変有難うございました。今後も兵庫工業会の活動に積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

<景品ご提供>

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| ・(株)アシックス | ・阿比野建設(株) | ・金井重要工業(株) |
| ・川崎重工業(株) | ・(株)関西工事 | ・グローリー(株) |
| ・(株)神戸製鋼所 | ・(株)神戸ポートピアホテル | ・住友ゴム工業(株) |
| ・大和産業(株) | ・滝川工業(株) | ・(株)日本旅行 |
| ・白鶴酒造(株) | ・早駒運輸(株) | ・バンドー化学(株) |
| ・(株)フジ・データシステム | ・(株)ホテルオークラ神戸 | |

(50音順)



鏡開きの様子



懇親会の様子

令和7年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」が、12月16日(火)、神戸市産業振興センターハーバーホールにて開催されました。

兵庫県 知事賞80名、兵庫工業会 会長賞81名の方々が受賞され、厳かな雰囲気の中、賞状と記念品が手渡されました。

受賞者の皆様、おめでとうございます。



福岡・北九州 「SDGs研修会×ものづくり技術懇話会」ご報告

11月11日(火)～12日(水)産業振興委員会とシン・ものづくり委員会の共催で「SDGs研修会×ものづくり技術懇話会」を開催致しました。九州の中心都市として躍進を続ける福岡、ものづくり都市として兵庫・神戸と親和性のある北九州に赴き、二日間にわたって両都市で「地域の基盤作り」「環境・脱炭素」の関連事業を学んでまいりました。兵庫県庁、神戸市の方々、三宅会長、金井副会長、吉井副会長をはじめ総勢30名が参加しました。

最初の訪問先は㈱やまやコミュニケーションズ。同社が掲げる「個人の成長が企業の成長に繋がる」という理念に基づく人材育成や、女性活躍の推進、社員一人ひとりの声を活かす改善活動についての講話に参加者一同大きな関心を寄せました。工場見学では、従業員が主体的に活躍できる環境づくりが競争力向上に直結している実例を目の当たりにしました。併設のやまやファクトリーテラスで昼食をとりながら、ブランドづくりと地域連携の可能性についても意見交換が行われました。

続いて南福岡自動車学校に訪問。「外国人材の活躍」というテーマで学びを深めました。国籍を問わず、教官やマーケティングなど中核的な役割を担う人材として登用している姿勢は、多様性を企業の活力に変える先進的な取り組みとして強い印象を残しました。また、AI教習車も大学との共同開発で戦力化されている様一同驚きを感じました。また留学生の就労支援を行う(一社)YOU MAKE ITに「個」を尊重することの重要性についての講話も頂きました。その後、福岡県千代合同庁舎に移動して、福岡地域戦略推進協議会(FDC)より福岡都市圏の街づくりや産業振興の講話、兵庫県、神戸市、工業会からも「地域の基盤づくり」に関連した事業紹介を行い、受け入れの福岡県側とで活発な意見交換を行いました。産官学金の連携で都市全体の価値を高めるダイナミズムに触れ、「密な連携が街の成長を生む」ことを一同実感致しました。

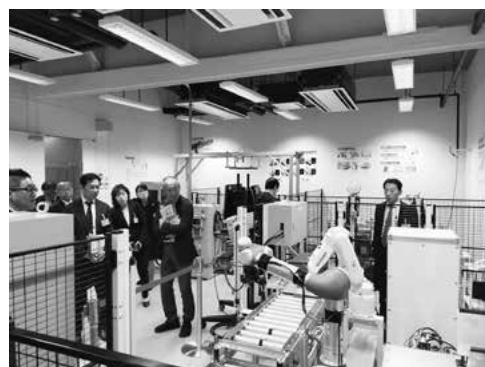
翌日は、ものづくり都市として発展してきた北九州市へ向かいしました。最初の訪問先は北九州学術研究都市(FAIS)。企業、大学、北九州市が一体となって都市づくりを行い、技術開発と人材育成を推進する体制づくりについての講話を受け、その後、ロボット・DX推進センターやクルマの未来館を見学させて頂きました。鉄の街から新産業振興の街へと着々と変貌を進めている姿を実感しました。同じく重厚長大産業を背景に発展してきた兵庫・神戸にとっても多くの気付きを得られました。続いて北九州エコタウンセンター。ここでは、太陽光パネル廃棄・回収への先端的なリサイクル技術や洋上風力発電の取り組みについて視察し、環境課題への挑戦が新たな産業へと結びついている現場が確認できました。

2日間の最後の視察地であるTOTO(株)のTOTOミュージアムと小倉工場では、100年以上にわたり世界品質を支え続ける企業文化と、熟練技能と先端技術の融合を目の当たりにしました。伝統を継承しながら革新を続ける姿勢、人材を継続的に育てるシステムは、ものづくり企業として、普遍的価値の提示でありました。

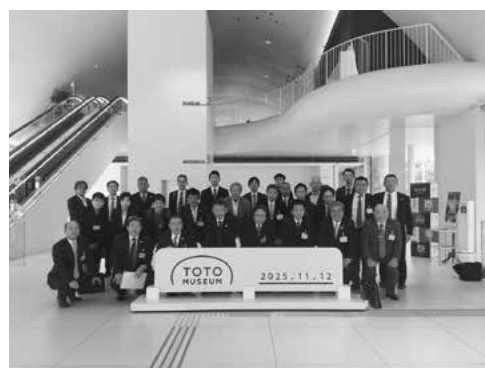
以上、福岡県庁、北九州市のバックアップのもと、「人への投資」「地域連携」「環境技術の社会実装」という、兵庫の産業が未来へ向けて進む上での重要な視点からの多くの学びを得ることができました。



福岡県千代合同庁舎にて意見交換会の様子



北九州学術研究都市(FAIS)
ロボット・推進センター見学の様子



TOTOミュージアムにて集合写真

「但馬地域交流会」ご報告

兵庫工業会では、県内ものづくり企業が抱える地域ごとの課題や行政・工業会への要望を、兵庫工業会幹部（会長・副会長）が各地域を訪問して直接伺い、今後の事業に反映させることを目的に「地域交流会」を定期的に開催しています。

今回は、但馬地域にて、芸術文化観光専門職大学（豊岡市）を訪問し、同校の見学ならびに学生研究発表の聴講および学生との意見交換、さらには但馬地域会員企業から“レコード”を通じた地域貢献の取り組みをご紹介いただいたうえで、意見交換会・交流会を開催しました。

(1) 開催日 2025年12月17日(木)

(2) 開催場所 芸術文化観光専門職大学

(3) 参加者 42名

(4) 芸術文化観光専門職大学見学

- ・平田学長による地元中学生に対する演劇を通じたワークショップ見学
ゲーム形式の俳優訓練を通じて、コミュニケーションの難しさを学んでいるところを見せていただき、演劇を通じた教育というもののイメージがつかめました。

- ・平田学長ご挨拶

豊岡地区唯一の大学として、かつ県立の大学として地域に貢献し、豊岡・但馬の未来を切り開ける人材の育成、豊岡に学生が残る・戻ってくる大学を目指しておられ、そのためには産学官の連携が必要とのお話をいただきました。

- ・大学施設見学

劇場やスタジオ、楽屋、大道具小道具の制作室など国公立大学初の演劇を本格的に学ぶ大学らしい施設に加え、図書室、トレーニング室、キャリアサポートセンターなど充実した施設を見学させていただきました。

(5) 学生の研究発表および学生との意見交換

芸術文化・観光学部の10名の学生より、以下の4件の研究成果のプレゼンテーションがありました。

- 第6次産業の魁である豊岡にある卵かけご飯専門店の成功要因の分析と今後の課題の検討

- 地域のイベントへの学生参加のマッチング事業の企画・検討

- アートニア但馬：地元企業と一緒に作るアートブランドストーリー

- 製造業のブランディング戦略の企画・検討

どの研究発表も地域の企業に直結した内容であり、カリキュラムにも地域のことを良く知って、残って欲しい、戻ってきて欲しいという思いがこめられている気がしました。

プレゼンテーションに続いて、発表いただいた学生の皆さんと、但馬牛弁当を食べながら意見交換を行いました。

(6) 但馬地域会員企業による地域貢献取り組みの紹介

（一社）シン音泉の代表理事であり、新温泉町でレコード針を製造している日本精機宝石工業(株)の仲川代表取締役より、「(モノ+コト+トキ) × つくり = レコードの町づくり」と題して、新温泉町を“レコードの町”として盛り上げていく町づくり活動について紹介いただきました。

モノづくり（レコード針のメーカ）+コトづくり（レコードの音楽鑑賞）+トキづくり（時間を売り物に）のビジョンのもと、子供たちが誇りをもって語れる町づくりを、命をかけてやるとのご発言をいただき感動しました。

さらに、1975年（今年昭和100年の50年前）に流行した7曲のレコードを、その曲に纏わる楽しいエピソードを交えて鑑賞させていただき、懐かしい曲と、デジタル音源とは異なるレコードの音色による貴重な“トキ”を共有させていただきました。

(7) 意見交換会

“自社の問題点とその解決に向けた取り組み”、“工業会・行政に対するご意見、要望”をテーマに、活発な意見交換が行われました。

各テーブルとも、人材確保が一番の問題点であり、少子化・理系離れ、理系人材の減少という逆風の中、そもそも採用できない、さらに採用したとしても、定着してくれないことに対する各社の取り組みが共有されました。他にも、コンプライアンスの問題、研究開発に対する補助金の問題など、産学官にわたる話題で非常に有意義な意見交換ができました。

(8) 交流会

豊岡駅近くに場所を移して交流会を開催し、活発な交流がなされました。但馬地域の冬の味覚の代表格である“カニ”のフルコースを満喫しながら、盛況のうちに地域交流会を終了しました。



学内施設見学の様子



学生の研究発表



仲川代表理事のご説明



意見交換会の様子

兵庫工業会ホームページに会員様の企業広告を掲載できます。



※広告をクリックするとHPへ移行いたします。

◆サイズ：縦：横 = 400px：580px JPEG形式として
容 量 = Max 4MBまで

※アニメーション、ロールオーバー等画像が変化するのはご遠慮願います。
※広告デザイン等につきましては、広告主様で作成をお願い致します。

◆掲載期間・料金：1年 / 20,000円 (税別)

※掲載期間についてはホームページ掲載後1年とします。

◆詳細・お申し込みは右記QRコードまたはHPよりお願いいたします。



お申込
・
問合せ先

公益社団法人 兵庫工業会 事務局 (担当：川井、宮岸)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター3階
TEL：078-361-5667 FAX：078-371-4336

会 員 動 向

代表者登録変更

企 業 名	新 登 録 者	旧 登 録 者	変 更 月
尼崎商工会議所	会 頭 作田 誠司	大久保 和正	2025年11月

住所変更

企 業 名	新 住 所	変 更 月
神姫観光(株)	姫路市北条口1-17 神姫バス姫路本社ビル3階	2025年12月

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
2月26日(木)～2月27日(金)	会員交流見学会	鹿児島・種子島
3月9日(月)	国内技術見学会	ダイキン工業(株) 堺製作所 臨海工場
3月18日(水)	第3回理事会	ホテル日航姫路
5月16日(土)	ゴルフ大会	小野東洋ゴルフ倶楽部
5月28日(木)	第67回通常総会	ホテルオークラ神戸

公式SNSで情報発信中！
ぜひ、フォロー・ご登録ください！

Instagram➡



兵庫工業会HP➡



ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3 階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3 階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231